

主役は俺だー 2023年秋⑥

■北村朋也（きたむら・ともや） 室蘭工業大 RB 4年

2年ぶりの1部復帰を決めた昨年の1、2部入れ替え戦。2部の室蘭工業大は、1部最下位の東京農業大を攻守に圧倒して38-0で快勝し、前年の雪辱を果たした。2TDを決めた北村は「1本目は2ヤードダイブ。2本目は敵陣30ヤードからのダイブで、ラインの開けた穴を抜け、タックルを弾き飛ばして走った」と会心のTDランを振り返った。今季、新入部員13人を迎え総勢24人で1部に挑むブラックパンサーズ。主将2年目の北村は「目標は3位以上。北大と北海学園大の2強に食らいつき、他の3校には勝ちに行く」と力強く言い切った。

釧路北陽高ではサッカー部のサイドバック。コロナ禍の中で入学した大学は部活動も休止だったが、緊急事態宣言が明けた7月、アメフト部の動画をSNSで見ると興味を持った。「違うスポーツをしたい」と練習を見学してタッチフットを体験。先輩の歓迎に誘われて入部を決めた。2年生からRBを務めるがけがで出場は1試合のみ。2部での戦いとなった昨季が本格デビューだった。「(エースRBの冨樫) 司はクイックネスがあるタイプ。自分は当たり負けしない走りに自信がある」と持ち味をアピール。昨年より体重を2キロアップした162センチ、72キロの体に自信をみなぎらせる。

新型コロナウイルスに翻弄された先輩たちの無念も晴らそうと臨む今季。まずは新入生勧誘に力を入れて選手層を厚くした。伝統のラン攻撃にも磨きをかけて「ラインが強いので安心して走れる」と全幅の信頼を寄せる。8月13日に札幌で開かれたXリーグ・オービックのクリニックでは「カットバックの練習をしてきた」と言う。初戦は開幕戦の帯広畜産大戦。「初戦が大事。まず勝って、続く北大、北海学園大戦につなげたい」と気合いを込めた。

〈プロフィール〉

2001年5月13日、釧路市生まれ。理工学部創造工学科。2年生の時の主将だったOL/DL原田耕太を尊敬する。「主将のあり方やチームのあり方を学んだ。自分が正しいと思うことを貫き通す心の強さを教わった」と感謝する。

